



— 日露戦争150周年 —

記念講演会 及び コンサート

- ◆ 日 時：4月16日(土) 午後2時～午後4時
- ◆ 会 場：下田市民文化会館
- ◆ 主 催：外務省



一橋大学名誉教授
中村 喜和

第一部 記念講演会

■ 題 目：「下田からロシアを見る」

■ 講演者：中村 喜和 一橋大学名誉教授

一橋大学卒。ジェトロ(日本貿易振興会)勤務。一橋大学、東京大学、共立女子大学などでロシア語、ロシア文学を講じる。専攻はロシア文化、日露交渉史。著書に『聖なるロシアを求めて』(1990年大佛次郎賞受賞)、『おろしや盆踊考』、『遠景のロシア』。訳書に『ロシア昔話集』など。

第二部 記念コンサート

アナスタシア・チェボタリョワ(バイオリン)

<プログラム>

- ラフマニノフ/ヴォカリーズ
- チャイコフスキー：
なつかしい土地の思い出 作品42より メロディ
- チャイコフスキー=D.TZIGANOV編：
バレエ音楽「白鳥の湖」より"情景"(第2幕)
- チャイコフスキー：
バレエ音楽「くるみ割り人形」より「トレバック」
- ストラヴィンスキー=S.DUSHKIN編：
ペトルーシュカより"ロシアの踊り" 他



● アナスタシア・チェボタリョワ ●

オデッサ生まれ。8歳のときに才能を見いだされ、モスクワ中央音楽学校を経て1996年モスクワ音楽院卒業、1998年同大学院終了まで、一貫したロシアンメソッドの下に学ぶ。在学中1989年パガニーニ国際バイオリンコンクール入賞、1991年ユベントス国際音楽祭入賞、1992年ルドフォ・リビツァー国際コンクール優勝に輝く。1994年チャイコフスキー国際コンクールバイオリン部門で最高位を獲得、以来活発な演奏活動を開始し、ロシア国内はもとより、世界各地に招かれる。

1999年よりモスクワ音楽院のアシスタントプロフェッサー、また2000年くらしき作陽大学音楽学部に新設のモスクワ音楽院特別演奏コース特任教授として招かれる。現在は日本とロシアを活動の拠点とするユニークなスタイルで世界中各地での公演活動を行っている。倉敷市ではジュニアオーケストラや市民オーケストラとの共演など、地域との文化活動も積極的に行っている。

